

提携
39
周年



ビュースィング宮殿

オッフェンバッハ市 (ドイツ連邦共和国)

昭和58年8月24日姉妹都市調印
人口約14万2,000人 面積45.24 km²

ライン川の支流、メイン川沿いに位置する工業都市で、中でも伝統的な皮革産業が有名です。歴史は古く、あちこちに往時の姿を思わせる歴史的建造物があります。ともに大都市圏に位置し古い歴史があること、川越市内の企業の工場が同市にもあったことなどから提携しました。

■オッフェンバッハ市との交流

青少年の相互派遣や、両市商工会議所のビジネス交流等が行われています。川越市からは2年に1度、中学生がオッフェンバッハ市を訪問しています。令和元年には、オッフェンバッハ市で行われた姉妹都市提携35周年を祝う式典に、川越市民も参加しました。



提携
36
周年



オレゴン州議会議事堂

セーレム市 (アメリカ合衆国)

昭和61年8月1日姉妹都市調印
人口約18万人 面積115 km²

オレゴン州の州都です。ウィラメット盆地は年間を通じて温暖な気候に恵まれ、世界で最も豊かで農産に適した土地といわれています。まちの随所に緑の公園が配置され、整然とした町並みが落ち着いた雰囲気を感じさせています。市内の大学と同市にある大学が姉妹校であることから市民交流が重ねられ、提携に至りました。

■セーレム市との交流

平成27年の姉妹都市提携30周年の記念式典では、セーレム市民団が川越市を訪れ、氷川神社への参拝などを通じて日本文化にふれました。また、中学生の派遣事業は2年に1度行っており、令和元年には川越市の中学生がセーレム市を訪問。ホストファミリーと過ごし強い絆を育むとともに、異文化への理解を深めました。



提携
20
周年



オートン市の町並み

オートン市 (フランス共和国)

平成14年10月18日姉妹都市調印
人口約1万4,000人 面積61.52 km²

パリの南東300kmにあり、2,000年の歴史を持つ古都で、ローマ皇帝アウグストゥスの命により築られました。現在も往時の城壁や、サンタンドレ門、円形劇場、サンラザール聖堂など歴史を感じさせる建造物がまちに点在しています。異なる価値観、文化を持つ地域との交流によるまちづくりを進める同市からの申し出により提携しました。

■オートン市との交流

主に青少年や教育をテーマとした交流が行われています。平成20年に川越市の中学生がオートン市を訪問した際は、ホームステイ体験とともに古代ローマ時代の文化にも触れ、さまざまな観点から異文化と歴史を学びました。平成25年には姉妹都市提携10周年を記念して川越市民がオートン市を訪問し、両市の相互理解を深めました。現在は、学生によるデジタル交流事業を進めています。



海外姉妹都市訪問
川越市中中学生交流団
派遣生アンケート結果公開

Autun City Kawagoe City Offenbach City Salem City

昭和62年の開始以来、川越市は、中学生交流団として500人以上の学生たちを海外姉妹都市に派遣しています。

令和2年度には、これまで派遣された方々を対象にしたアンケート調査を行ったところ、派遣後の生活などに影響を受けた方が80%以上いて、中には派遣経験を生かした職業に就き、活躍している方もいることがわかりました。市ホームページでは詳しいアンケート結果のほか、派遣生インタビューも公開しています。ぜひご確認ください。

参加者の声

価値観が変わる
大きな一歩でした

現在、ドイツの
在日総領事館
で勤務しています

自分子どもたちにも
同じような経験を
させてあげたいです

川越市と6姉妹友好都市

国際文化交流課 ☎224-5506 ☎224-8712

川越市には、姉妹友好都市の提携を結んでいる都市が国内外に6つあり、これまでに多くの市民によって、それぞれの都市と多岐にわたる交流が行われてきました。令和4年は、川越市の市制施行100周年記念の年にあたりますが、6つの都市のうち、4都市と姉妹友好都市提携を結んだ節目の年でもあります。

現在はコロナ禍のため、残念ながら多くの事業を中止せざるを得ない状況となっていますが、困難な状況だからこそ、都市間の絆の大切さを改めて感じさせられます。これからもさまざまな取り組みを通じて文化交流を推進し、姉妹友好都市との絆を深めていきます。

提携
50
周年



棚倉城跡

棚倉町(福島県)

昭和47年1月18日友好都市調印
人口約1万3,000人 面積159.82km²

福島県南部に位置し、丹羽長重が築いた棚倉城を頂く城下町です。古くから政治、交通の要所として栄えました。周囲を山に囲まれ、林業や農業が主な産業です。江戸時代に川越藩・棚倉藩の藩主に松平周防守康英を頂き、両市の歴史をつくってきたことから提携しました。

■棚倉町との交流

ゴルフ交流大会、友好グラウンドゴルフ大会、親善剣道交換会などを通じて川越市民と棚倉町民の交流を行っています。また、川越市民が棚倉城まつりに参加するなどの民間交流も盛んです。平成30年には棚倉町から日本三大桜に数えられる滝桜等の苗木が贈られ、川越市からは市の花である山吹の苗木を贈りました。



提携
40
周年



蘇洞門(そとも)

小浜市(福井県)

昭和57年11月30日姉妹都市調印
人口約2万8,000人 面積232.87km²

福井県の南西部に位置し、自然豊かで、数多くの文化遺産が点在。1,200年続く「お水送り」などの神事も伝えられ、水産業や、若狭塗箸、若狭めう細工などの伝統産業が盛んです。川越藩主が若狭小浜藩に転封された際、さらさら獅子の演技者を召連れ、雲浜獅子として伝承されている縁から提携しました。

■小浜市との交流

両市民が川越まつりや雲浜獅子が演じられる小浜市の城まつりを相互訪問し、つながりの深い歴史や伝統芸能を学ぶ文化交流を行っています。また、互いの産業祭に出展し、食や名産品のPRを行っているほか、両市の教員による意見交換など教育分野においても交流を行っています。



提携
20
周年



相原求一朗美術館

中札内村(北海道)

平成14年11月30日友好都市調印
人口約3,900人 面積292.69km²

国内有数の清流、札内川流域に広がる村で、豊かな自然に恵まれています。基幹産業は農業、畜産業ですが、帯広空港から約10分、首都圏から約120分という利点を活かし、企業誘致にも積極的です。川越市の名誉市民・相原求一朗さんの美術館が中札内村に開館したつながりから提携しました。

■中札内村との交流

毎年、夏期に川越市の中学生が中札内村を訪問し、冬期中札内村の中学生が川越市を訪問して、広大な自然や古い歴史など互いのまちの特徴を学び合い、相互にホームステイ交流を行っています。



また、川越市や中札内村の子どもたちが描いた児童絵画作品展を相互に展示するなどの文化交流も盛んです。